

土地改良事業計画変更概要書
小林東部第1地区 県営畑地帯総合整備事業
(畑地帯総合整備型 担い手支援対策)

第1章 変更の内容概要

1 変更概要

(1) 受益面積

(単位：h a)

区分	変更前				変更後				増△減
地目	田	畑	他	計	田	畑	他	計	計
畑地かんがい	35	62	1	98	35	62	1	98	0
農道	15			15	15			15	0
排水路	27			27	27			27	0
合計	35	62	1	98	35	62	1	98	0

(2) 事業費

(単位：百万円)

変更前 事業費	変更後 事業費	増△減	変更前 事務費	変更後 事務費	内 訳			
					物価 変動	工法	事業量	その他
1,773.2	2,264.1	490.9	43.4	55.3	107.8	383.1	0.0	0.0

(3) 主要工事計画

工 種	数 量			工事費（百万円）		
	変更前	変更後	増△減	変更前	変更後	増△減
畑地かんがい	98ha	98ha	0ha	1,202.7	1,547.2	344.5
用買補償	一式	一式		2.4	8.4	6.0
測量設計費	一式	一式		188.8	240.1	51.3
工事雑費	一式	一式		35.0	44.9	9.9
小計				1,428.9	1,840.6	411.7
農道	2,029m	2,049m	20m	57.3	85.6	28.3
用買補償	一式	一式		9.5	9.5	0.0
測量設計費	一式	一式		62.9	62.9	0.0
工事雑費	一式	一式		3.2	4.0	0.8

小計				132.9	162.0	29.1
排水路	4,331m	4,343m	12m	140.8	186.3	45.5
用買補償	一式	一式		6.1	6.1	0.0
測量設計費	一式	一式		59.3	62.7	3.4
工事雑費	一式	一式		5.2	6.4	1.2
小計				211.4	261.5	50.1
事務費				43.4	55.3	11.9
合 計				1,816.6	2,319.4	502.8

(4) 予定工期

変 更 前	平成 25 年度から令和 5 年度まで
変 更 後	平成 25 年度から令和 10 年度まで

2 変更の理由

本地区は、天候や異常気象に左右されず安定的な農業用水を確保するため、国営かんがい排水事業西諸地区の関連地区として、末端の畑地かんがい施設及び、農道整備、排水路整備を適時事業計画の調整を行いつつ、事業実施中である。

畑地かんがい工については、現地精査に伴う管路延長の増加や埋戻し材の変更等により事業費が増となった。

これらの理由から、工法変更及び事業量変更が必要となり、事業費を 1,816.6 百万円から今回 2,319.4 百万円に変更したい。

第 2 章 事業目的

本地区の農業は、主に露地野菜、飼料、畜産等を中心とした営農がなされている。しかし、年間を通した計画的な「水」の利用ができず生産性の向上を阻害しているため、国営西諸農業水利事業により山之口原ファームポンドを設置し、本事業において畑地かんがい施設を整備し干ばつ被害を防止し、計画的に「水」を利用する事により生産・品質性の向上、収益性の高い作物への転換を行い農業経営の安定を図る。

また、環境配慮について小林市では、基本的に環境へ配慮した工法の採用や、自然環境に優しい生産基盤を整備することを目標とした農業農村整備事業を推進している。

第 3 章 地域の所在及び状況

本地区は、小林市の北東側に位置し、国道小林須木線の両側にかかる標高 180m～270m の丘陵地に畑団地・樹園地、水田が形成されている。土壌は、黒色火山性で表土は黒色壤質土、心土は黒色壤質土となっている。

第 4 章 基本計画

本地区は、主に露地野菜、飼料、畜産等を中心とした営農がなされている。しかし、年間を通した計画的な「水」の利用ができず生産性の向上を阻害しているため、国営西諸農業水利事業により山之口原 FP を設置し、本事業において畑地かんがい施設を整備し干ばつ被害を防止し、計画的に「水」を利用する事により生産・品質性の向上、収益性の高い作物への転換を行い農業経営の安定を図る。

第5章 工事又は管理の要領

- 1 事業実施主体は、宮崎県とする。
- 2 事業完了後の管理者は、小林市、西諸土地改良区とする。

第6章 換地計画の要領

該当なし。

第7章 費用の概算

変更前	1,816,600 千円（事務費 43,400 千円を含む）
変更後	2,319,400 千円（事務費 55,300 千円を含む）

第8章 効用

1 変更前

（効果の単位：千円）

作物生産 効果	品質向上 効果	営農経費 節減効果	維持管理費 節減効果	走行経費 節減効果	国産農産 物安定供 給効果	計	総費用総 便益比
162,981	226	4,994	△4,383	5,599	58,197	227,614	1.07

2 変更後

（効果の単位：千円）

作物生産 効果	品質向上 効果	営農経費 節減効果	維持管理 費節減効 果	走行経費 節減効果	国産農産 物安定供 給効果	安全性向 上効果	計	総費用総 便益比
211,027	7,939	13,388	△5,352	7,698	42,900	1,400	279,000	1.10

第9章 他の事業との関連

国営西諸1期・2期かんがい排水事業：受益面積 4,150ha

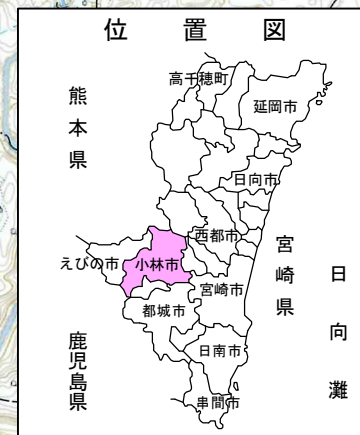
第10章 計画概要図

別添のとおり

令和7年度 計画変更 水利施設等保全高度化事業
畑地帯総合整備事業（畑地帯総合整備型 担い手支援対策）

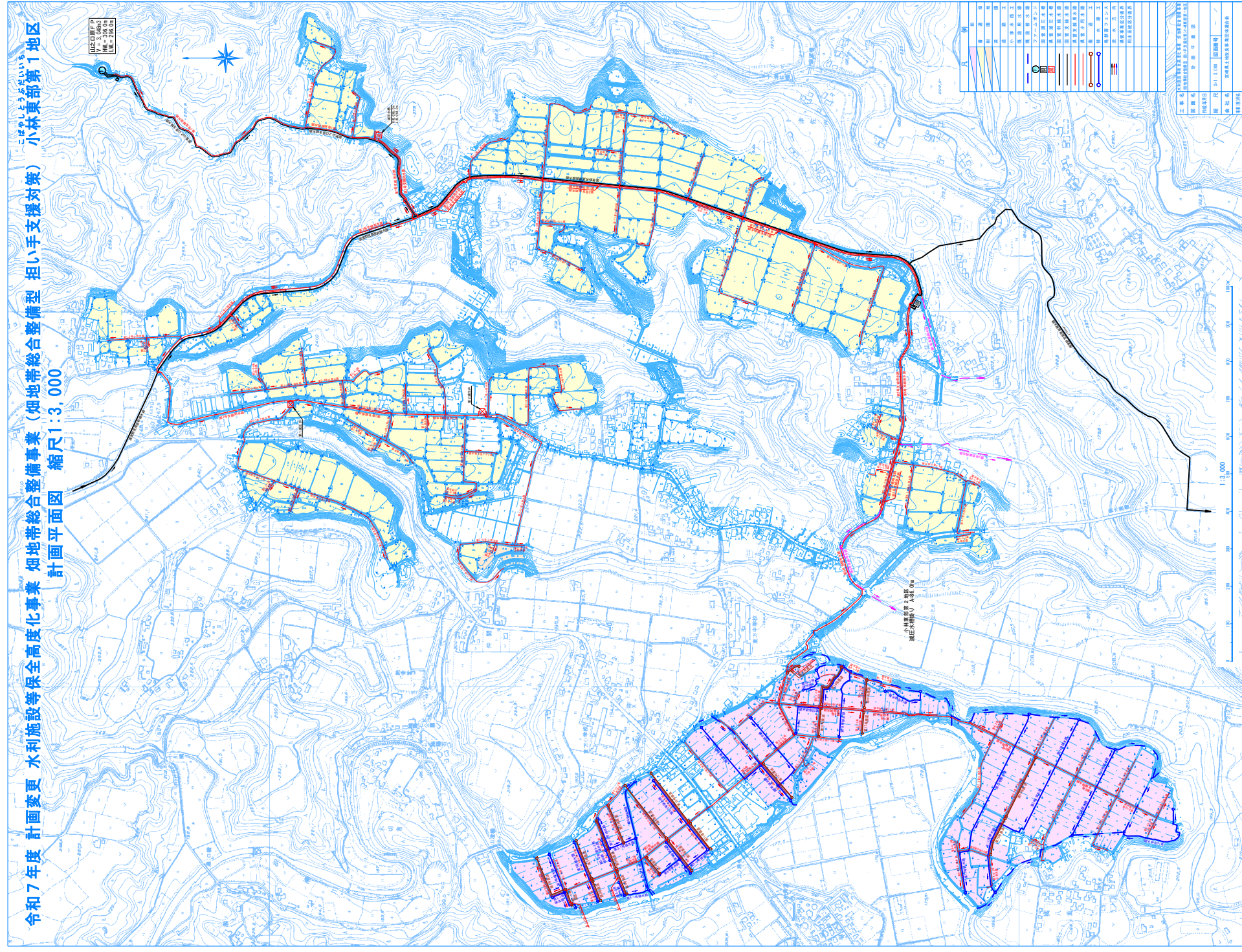
こばやしとうぶだいち
宮崎県小林東部第1地区計画位置図

縮尺 1/25,000



凡 例	
	受益地
	田畑
	樹園地
	茶園
	地区界

令和7年度 計画変更 水利施設等保全高度化事業 畑地帯総合整備事業（畑地帯総合整備型 担い手支援政策） 小林東部第1地区
縮尺1:3,000 計画平面図



小林東部第1地区 標準断面図

